

特集

ふみだす一歩、広がる世界 オーストラリア ケアンズ訪問

第14回 中学生海外派遣

町では町内中学校の2年生を対象に、現地の生徒や家族との交流を通じて生活や文化に触れるとともに、外国語による表現と理解を高め、国際感覚豊かな青少年の育成と国際交流の推進を図ることを目的として、中学生を海外に派遣しています。

今年度は、8月2日から9日までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

現地で生徒たちは、学校訪問による授業参加や、ホームステイを体験しました。日本とは違う言語や生活習慣、文化に触れ、ホストファミリーや現地の中学生との交流を通して、コミュニケーションの大切さを肌で実感し、様々な人たちの温かな支えによって、多くのことを学んできました。

参加した生徒の皆さんに、海外派遣後アンケートをとりましたので、ここに紹介します。



訪問校 ゴードンヴェールステートハイスクールの校庭にて集合写真

全日程表

月/日	地名	内容
8/2(金)	上三川町 成田空港 (機内泊)	出発式後、成田空港へ空路、オーストラリア・ケアンズへ
8/3(土)	ケアンズ着 (ホームステイ)	ホストファミリーと対面式 ホストファミリーデー
8/4(日)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	ホストファミリーデー
8/5(月)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	体験学校訪問・体験授業
8/6(火)	ケアンズ郊外 (ホームステイ)	体験学校訪問・体験授業
8/7(水)	ケアンズ (ホームステイ)	グリーン島研修(世界遺産グレートバリアリーフ) ホストファミリーとさよならパーティ
8/8(木)	ケアンズ	キュランダ村研修 (世界遺産デインツリーフォレスト及びアボリジニ文化)
8/9(金)	ケアンズ発 成田空港 上三川町	空路、ケアンズから成田空港へ 空港からバスで上三川町へ

参加生徒

所属名	氏名
本郷中学校	長谷川 怜 央 (はせがわ れお)
	菊 地 汰伊良 (きくち たいら)
	渡 辺 美 友 (わたなべ みゆ)
	田 村 安 嬉 (たむら あき)
	藤 井 菜 緒 (ふじい なお)
	吉 川 路 美 (よしかわ ろみ)
上三川中学校	猪 瀬 将 輝 (いのせ まさき)
	笹 沼 晴 樹 (ささぬま はるき)
	野 口 栞 名 (のぐち かな)
	村 越 由 季 (むらこし ゆき)
	柴 萌 々 乃 (しば ももの)
	面 川 彩 香 (おもかわ あやか)
	小 口 優 花 (こぐち ゆうか)
	須 田 陽 名 (すだ はるな)
明治中学校	岩 橋 百 華 (いわはし ももか)
	小 山 絵 理 奈 (おやま えりな)
	伴 沙 耶 香 (ばん さやか)
	横 山 このか (よこやま このか)
	大 高 彩 恵 (おおたか さえ)
	中 山 雅 深 (なかやま まさみ)
	八 木 澤 清 蓮 (やぎさわ せいれん)
山 田 さくら (やまだ さくら)	

今回の研修にあたって

- ①この研修で学んだことは何ですか？
 - ②今後どう活かしていこうと思いますか？
 - ③今回の研修で一番印象に残っていることを短歌で表現してください。
- と、参加生徒に3つの質問をし、回答をいただきました。

長谷川 怜央 (はせがわ れお)

①将来のために英会話をもっと上達させたいという気持ちと、日本の文化との違いを理解し行動する力を得たこと。

②言葉が伝わらなくても身振り手振りなどを使って、外国人と積極的に関わり、国際交流に役立てたい。

③はじめての ホームステイで緊張し、心と心で 会話が弾む

菊池 汰伊良 (きくち たいら)

①コミュニケーションの取り方や自分の知っている知識を最大限に使って、自分の気持ちを伝えること。

②社会に出たときの礼儀であったり、知らない人とのコミュニケーションに役立てたいと思います。

③アポリジニの 文化を学び おどろいた 昔ながらの 先人の知恵

渡辺 美友 (わたなべ みゆ)

①学び、伝える力です。現地の文化、そして日本との相違点を学ぶと共に日本の風習等を伝えることができました。

②今後、社会に出る上で重要なコミュニケーション能力を、将来、人と関わる上で生かしていきたいと思っています。

③キラキラと 夜空に輝く 星々とファミリーの笑顔 照らし合わせる

田村 安嬉 (たむら あき)

①初めて会った人とのコミュニケーションのとおり方と、それぞれの国の文化の違いや常識考え方の違いを学びました。

②今、自分が考えている夢や生活に、学校で習うことのできない今回のような体験を役立てていきたいです。

③星空と 家族の優しさ 忘れない 二度とできない 良き思い出の

藤井 菜緒 (ふじい なお)

①「家族の温かさ」です。自分の家族のようにホストファミリーが私に暖かく接してくれたときは嬉しかったです。

②積極性の大切さも学んだので、まずは学校から積極的に活動していきたいです。この貴重な経験を無駄にしません。

③勇気だし 話しかけたら 分かること 明るい笑顔と 家族の優しさ

吉川 路美 (よしかわ るみ)

①多くの経験によって、知識や自信、積極性などを得ることができたと思います。

②人と関わる楽しさや嬉しさを知ったので、人との関わり合いの強い職業や活動に多く参加していきたいです。

③言葉では 伝わらなくても 心では 必ず通じる 自分の思い



ホストファミリー出迎え

猪瀬 将輝 (いのせ まさき)

①言語が違っても相手に伝えようとする思いを持ってがんばれば相手に自分の気持ちは伝わるといふこと。

②オーストラリアの人たちと触れ合っで、英語で話すことに自信がついたので、英語を活かせる職業に就きたい。

③最高の 仲間に出会えた ケアンズは 僕の第二の 故郷だ

笹沼 晴樹 (ささぬま はるき)

①言葉がうまく伝わらなくても頑張れば、伝えられるといふこと。

②将来、外国人とコミュニケーションをとる機会があるときに、うまく考えを伝えられるように役立てたい。

③ホームステイ 身振り手振りと電子辞書 フル活用して 伝えた言葉

野口 菜名 (のぐち かな)

①文化や生活の違い。一番は言葉の違いで困ることもありましたが、お互いが通じ合っていれば伝わるこの大切さ。

②積極性、責任感、自分の事は自分でやる事の大切さを今回の経験で学んだ。それらを生かして将来にも繋げたい。

③それぞれの 生活環境 違うけれど 気持ちがあれば お互いに笑顔

村越 由季 (むらこし ゆき)

①積極的に行動することの大切さです。言葉が通じなくても伝えたいという気持ちがあれば、伝わりと実感しました。

②どんなに嫌なことがあっても、差別せずにいいことをなるべく考えて生きていこうと思えました。

③海外で 日本と違う 生活を 家族とバディが 教えてくれた

柴 萌々乃 (しば ももの)

①自分の意思を、きちんと伝えることは大事な事だということ。自分達の国の文化を伝えていくべきだということ。

②積極性を学校生活に、そして、英語力をこれからもっと身につけて国際文化交流に役立つ人になりたい。

③人々の 笑顔の多さに いやされ 思い出深き オーストラリア

面川 彩香 (おもかわ あやか)

①自分ですべての行動を考え、責任を持つということ。言葉が通じにくい他国で身につけたコミュニケーション能力を得た。

②海外派遣で身につけたコミュニケーションを将来に生かし、世界の人々と接していくことに役立てたい。

③グリーン島 魚やサンゴ 泳いでる 波にゆられて 私も泳ぐ



訪問校にてブーメランの絵つけ

小口 優花 (こぐち ゆうか)

①日本との文化の違いや、友達と協力することの大切さ、積極性の必要性などを得ることができました。

②自分の意見を相手にはつきりと伝えたり、常に他人に思いやりを持って接していくために役立てていきます。

③ファミリーの 愛と優しさに つつまれて 成長できた 自分の心

須田 陽名 (すだ はるな)

①英語の知識とコミュニケーションをとることの大切さと、誰かを気づかう気持ちの大切さです。

②これからの将来、日本で困っている外国人を見かけたら、助けてあげたいと思いました。

③伝わった 国境なんて 関係ない 大切なのは その気持ち

岩橋 百華 (いわはし ももか)

①たくさんあるが、海外にもう一つの家族や友達ができ、交流することができたということが一番だと思う。

②ホストファミリーになることがあると思うから、ホームステイでの経験を留学生と接するときなどに役立てていきたい。

③通じない でも一生懸命 伝えたら やっぱ大きい 達成感

小山 絵理奈 (おやま えりな)

①その国の文化や習慣を理解し、人々が大切にしているものを自分も大切にすることが必要だと分かりました。

②さらに会話力や英語力を身につけて、積極的に外国の人と仲良くしていくように、この経験を役立てたい。

③サトウキビ 畑が続く ごちまで終わればそこは ゴードンヴェール

伴 沙耶香 (ばん さやか)

①自分の思いを伝えることの大切さや難しさ、言葉や文化の違うところでの生活の大変さです。

②外国に行ったときに、しっかりと英語を話したり、文化の違うところでの生活で、順応させられると良いと思います。

③グリーン島 みんなで過ごした一日に きれいな海と 自然に出会う

横山 このか (よこやま このか)

①言葉は、伝わらないと意味はない。伝えようとすることは意味がある。伝えようと努力することが大切だと思う。

②私は将来、人と関わる職業につきたい。だから今回学んだコミュニケーションの取り方を生かしていきたい。

③戸惑いが 会話と共に 自信へと笑顔あふれる 時間変わる

大高 彩恵 (おたか さえ)

①壁を作らずに、楽しむということ。壁を作らなければ、英語を楽しんでいると感ぜられるということ。

②英語が話せないからといって、がまんせずに、自分の意見をはっきり伝えられるようにしていきたいです。

③トランポリン 楽しかったよ この時間 はねるといつも 笑顔が増える



グリーン島見学

中山 雅深 (なかやま まさみ)

①言語は違っても、自分から話しかける積極性や、多くの人とのコミュニケーションをとれたことです。

②今後、もっと英語力をつけ、様々な国の人とも会話し、将来の自分の仕事に役立つようにしたいです。

③英会話 身振り手振り で 会話をし 初めて感じた 英語の楽しさ



ホテルにてホストファミリーとのさよならパーティー

別れが
ティー 最高の 笑顔とともに お
③ ホームステイ さよならパ

立てたいです。
② 今回、学んだコミュニケーション力
を生かし、人と関わる仕事をして役
① 言語が違っても伝えるという思い
や気持ちがあれば、相手に伝えるこ
とができるコミュニケーションです。

山田 さくら (やまだ さくら)

① 私は、この海外派遣でコミュニケー
ション力を得ることができました。
② これからは、海外派遣で自分に自
信がついたので、日本でも積極的に
話していきたいです。
③ 初めての 飛行機体験 はしゃぎ
過ぎ あまり眠れず 翌日後悔

八木澤 清蓮 (やぎさわ せいれん)

派遣団長報告

団長 入内澤 賢 (いりうちざわ さとし) (明治中学校 校長)

8月2日に出国し9日に帰国するまでの8日間、生徒たちは、ホームステイをしながらホストファミリーとの交流を深めたり、現地校の授業に参加して生徒同士のコミュニケーションを楽しんだり、また、グレートバリアリーフや熱帯林等での体験活動をとおして、日本では味わえない自然の偉大さを体で感じたり、原住民のアボリジニの文化に触れたりするなど、貴重な経験を積んでまいりました。

生徒たちは、上三川町の中学生の代表として十分に誇れる態度、行動をとってくれたと感じました。ホストファミリーとの対面では、自分から積極的にコミュニケーションをとろうと努力している様子が伺え、訪問先の学校では、学習内容を理解しようと真剣に先生の説明に耳を傾ける姿や活動を楽しもうとする姿が随所に見られました。



この貴重な体験を今後どう生かしていくかは生徒一人一人に委ねられているわけですが、彼らの生活ぶりを見ておきますと、必ずやそれぞれに成長の糧としてくれるに違いないと確信しております。このような貴重な体験の場をご提供頂きましたことに重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。

▶ 問い合わせ先 =
教育総務課 学校教育係 ☎ 56 9156

報告会

8月19日(月)に、上三川町役場大会議室において帰国報告会を開催しました。

報告会では、町及び議会関係者を前に、同行した先生方や生徒たちから感想が発表されました。

先生方は「町の代表にふさわしい姿で行動していた」「少しずつ英会話が増え、学校訪問の後半には自然な感じで英語の会話をしていた」「積極的にコミュニケーションをとろうとし、中学生の適応力のすばらしさを感じた」「生徒が熱心に参加し、引き締まった研修であった」と、生徒の学ぶ姿を大いに評価していました。

生徒たちは「最初は遠慮をしていたが、会話に慣れ、ホストファミリーとともに笑うことができるようになったのがよかった」「学校訪問では、日本の学校と違い自分の席というものがなく驚いた」「バディが話しかけてくれたことをきっかけに、積極的にコミュニケーションを図ることができた。」など、ホストファミリーや訪問校の生徒たちとの関係性をより深く学んだようです。

また、「オーストラリアでは自然が大切にされていることを感じる事ができた」「家族の大切さを感じる事ができた」「もっと英語を勉強したいという気持ちが高まった」と、貴重な体験から感じたことを語っていました。



質疑応答の後、関係者の方々からは、「今回の訪問を大いに語るとともに、各学校に波及効果をもたらせてほしい」「貴重な体験を、今後の生活につなげてほしい」と期待する声が寄せられました。